



☆ DIVERSITY
SOCCER

☆ BASEBALL5

ハックリージョンの現場を目撃せよ！ 福祉×スポーツ

211月11日（祝）13:30-16:30

無料
要申込

会場 桜美林大学
プラネット渕野辺キャンパス (PFC)
PF100教室 (1F)



会場アクセス

JR横浜線渕野辺駅より徒歩1分

スポーツは若くて元気な人がするもの？！ 生活にゆとりがある人がするもの？！
そんな固定観念を覆す取り組みが広がりつつあります。ホームレスやひきこもり、不登校など社会的困難を抱える人が集う「ダイバーシティサッカー」。特別支援学校の生徒らが参加する5人制の野球「ベースボール5」。それぞれの競技参加者を交え、講演とパネルディスカッションを行い、インクルーシブなスポーツの可能性について考えます。

主催 桜美林大学健康福祉学群社会福祉学専攻

お問い合わせ koizumi@obirin.ac.jp (小泉)

お申し込みは
こちら
<先着70名>





撮影:John Anderson

ダイバーシティサッカー協会

ダイバーシティサッカー協会は、多様な社会的な困難を抱えた人々のために、「好きなことを思い切り楽しむ」機会を起点に「自分らしくいられる居場所」を創出し、それらをつなぎ、「すべての人を包み込む社会」の実現を目指しています。「不安定居住」状態にある人のための世界大会「ホームレスワールドカップ」への日本チーム派遣主体でもあり、2025年は1000万円を超えるクラウドファンディングに成功しました。



Baseball5（ベースボール5）

2017年に世界野球ソフトボール連盟（WBSC）より野球・ソフトボール振興の一環として発表されたキューバ発祥の新アーバンスポーツ。近年、急速に世界へ普及され、世界80カ国以上でプレーされています。基本的なルールは野球・ソフトボールと一緒にますが、バットやグローブは不要でボール1つさえあればどこでも楽しむことができる男女混合競技です。

1 講演 “仲間はずれ”を生み出さない社会を目指して

—ダイバーシティサッカーとホームレスワールドカップ—



鈴木直文 一橋大学大学院社会学研究科教授/NPO法人ダイバーシティサッカー協会代表理事

講演 ベースボール5と共生社会の可能性



若松健太 桜美林大学健康福祉学群准教授/WBSC Baseball5ワールドカップ2024日本代表監督

2 パネルディスカッション



講師

鈴木 直文



一橋大学大学院社会学研究科教授。NPO法人ダイバーシティサッカー協会代表理事。グラスゴー大学にてPh.D (Urban Studies) 取得。スポーツと社会的包摂 (social inclusion) を研究テーマとし、NPOを通じて実践している。《遊び心 playfulness》を起点に「誰もが自分らしくいられる社会」「仲間はずれを生み出さない社会」の実現を目指す。

講師

若松 健太



桜美林大学健康福祉学群准教授。北海道函館市出身、医学博士。鍼灸師・柔道整復師として10年以上の臨床経験や2009年には東北楽天ゴールデンイーグルス臨時トレーナーの経験を持つ。第1回 WBSC Baseball5ワールド2022（日本代表コーチとして）、第2回 WBSC Baseball5ワールドカップ2024（日本代表監督として）で準優勝に輝く。

主催

桜美林大学健康福祉学群社会福祉学専攻

お問い合わせ koizumi@obirin.ac.jp (小泉)

「ソーシャル・アクションの現場を目撲せよ！」
福祉×スポーツ